

適正規模についての意識調査結果について

令和4年10月実施
二本松市教育委員会

1 目的

小中学校適正規模及び適正配置に係る実施計画策定のために、小中学校の適正規模について、調査対象校の児童生徒、保護者及び教員の思いや願いなどを把握し、今後の策定に向けた基礎資料とする。

2 実施方法

(1) 調査対象校及び対象者について

現在複式学級が設置されている新殿小、旭小、安達太良小、原瀬小を調査対象校
調査対象者は、調査対象校の児童生徒、保護者及び県費負担教職員

調査対象校	対象児童数	対象保護者数	対象教職員数	合計(人)
安達太良小	44	28	7	79
原瀬小	47	32	9	88
新殿小	27	23	6	56
旭小	24	22	6	52
合計	142	105	28	275
回答率	100%	95%	100%	98%

(2) 自由記述の取扱について

「問2」「問5」の設問は、自由記述として実施するが、調査後、調査実施者が、次の回答類型の項目に照らして当てはまるものを選び、回答用紙の所定の場所に記述し、集計用紙に記入した。

なお、記述内容が複数の回答類型の項目に当てはまる場合は、複数記述している。

- | |
|-------------------------------------|
| A 丁寧で、きめ細かな指導を受けることができる。 |
| B 友だちの様々な考え方にふれ、多くの友達と関わりをもつことができる。 |
| C 一人一人の活躍の場が増え、自分や友達によさに気付くことができる。 |
| D 様々な役割を経験でき、自分のよさや可能性に気付くことができる。 |
| E 互いに協力する場が増え、思いやりや寛容の心を育てることができる。 |
| F ゆとりや安心感など、親和的な雰囲気の中で学習や生活ができる。 |
| G 互いに刺激し合い、磨き合う中で、自分自身を高めることができる。 |
| H その他 () |

3 調査期間について

令和4年10月3日(月) ～ 10月21日(金)

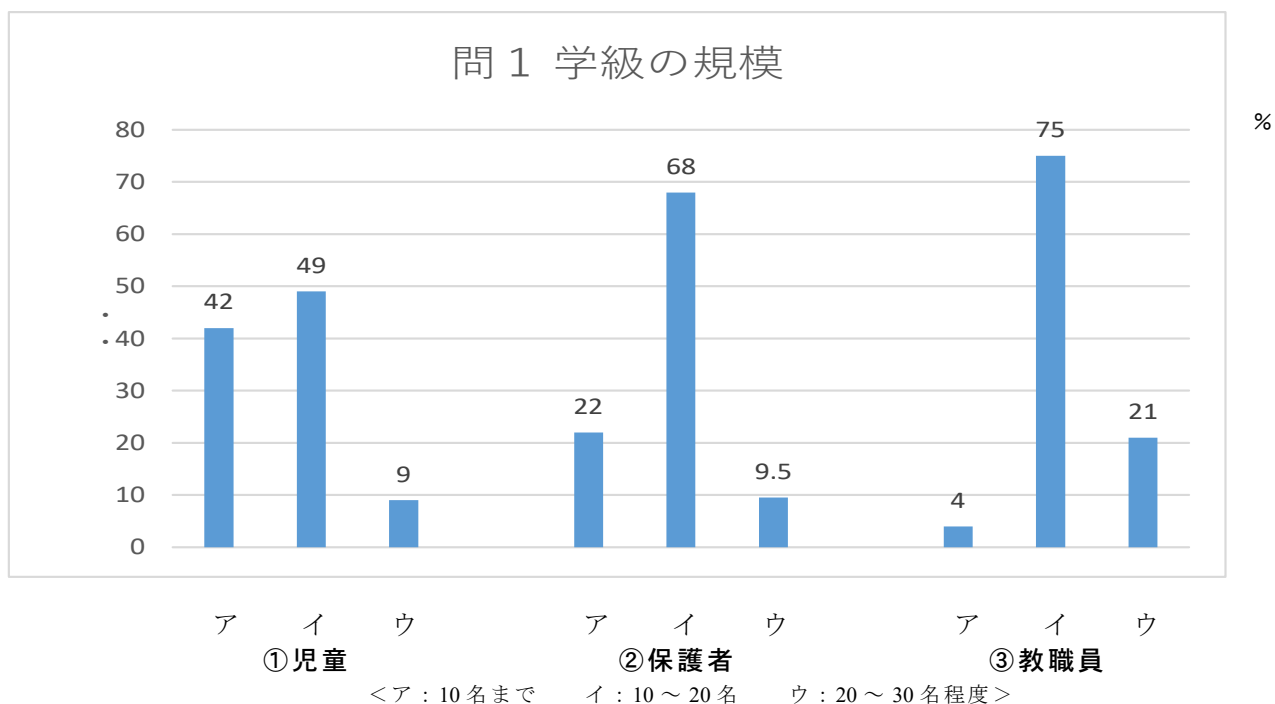
4 実施に当たっての留意事項

- (1) 児童、保護者及び県費負担教職員いずれの調査も無記名とした。
- (2) 児童対象の調査については、学級単位で一斉に行い、教員が設問内容に対して、発達段階に応じた補足説明を行いながら実施する。
- (3) 保護者対象の調査については、実家庭で実施した。なお、依頼の際は、依頼書を添付し、保護者に協力を依頼した。
- (4) 対象校の校長が、調査期間終了後、意識調査の回収・取りまとめ及び集計を行い、集計用紙と記入された調査用紙の原本を学校教育課へ提出した。

1 各設問別アンケート結果について

(1) 設問1 (学級の規模 (大きさ) について)

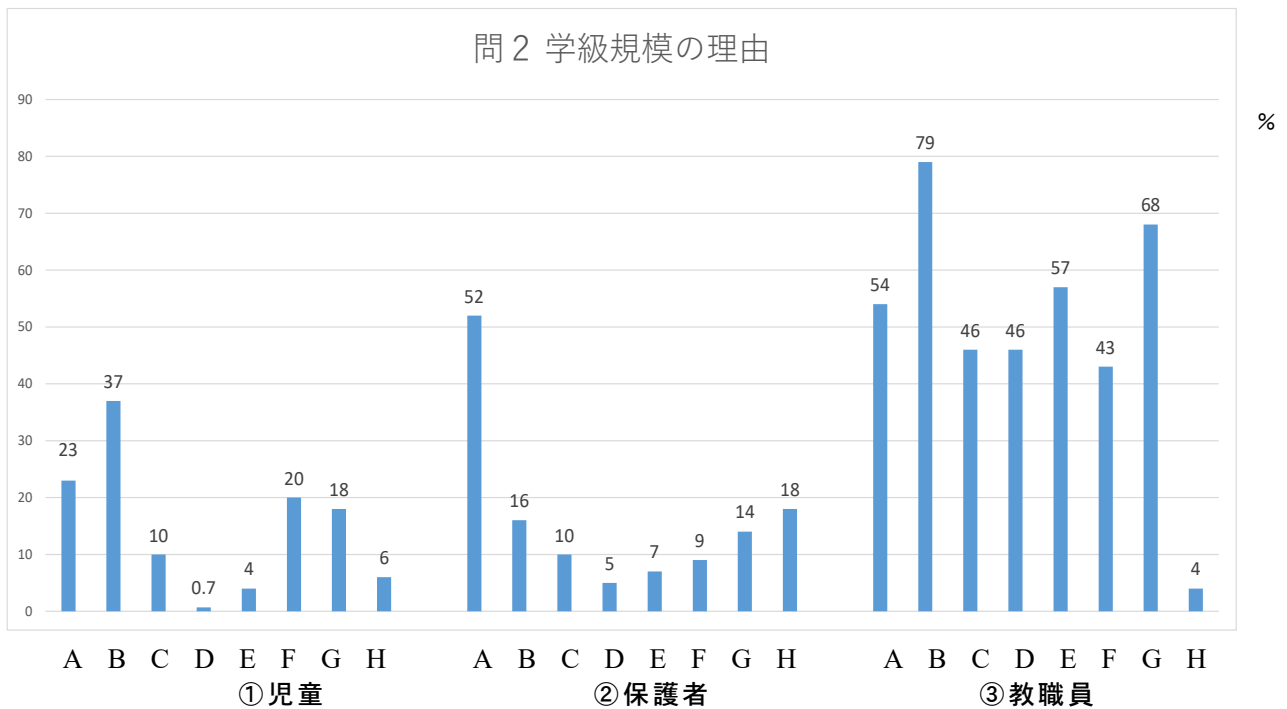
学級がどのぐらいの人数であれば、一番学びやすいと考えますか。



- ① 児童は、42%が10名まで、49%が10名から20名が学びやすいと考えている。
- ② 68%の保護者が10名から20名が学びやすいと考えており、10名までが22%である。
- ③ 75%の教職員が10名から20名が学びやすいと考えており、21名から30名程度も21%である。

(2) 設問2 (学級の規模(大きさ)についての理由)

問1で、どうしてその人数が一番学びやすいと考えたのですか。理由を書いてください。理由が複数ある場合は、複数書いてかまいません。



- A 丁寧で、きめ細かな指導を受けることができる。
- B 友だちの様々な考え方にふれ、多くの友達と関わりをもつことができる。
- C 一人一人の活躍の場が増え、自分や友達のよさに気付くことができる。
- D 様々な役割を経験でき、自分のよさや可能性に気付くことができる。
- E 互いに協力する場が増え、思いやりや寛容の心を育てることができる。
- F ゆとりや安心感など、親和的な雰囲気の中で学習や生活ができる。
- G 互いに刺激し合い、磨き合う中で、自分自身を高めることができる。
- H その他 ()

① 児童について

- B 友達の様々な考え方にふれ、多くの友達と関わりを持つことができる。(37%)
 - ・ 選んだ児童のうち 23%が A (10名まで)の児童
 - 67%が イ (10名から20名)の児童
- A 丁寧で、きめ細かな指導を受けることができる。(23%)
 - ・ 選んだ児童のうち 91%が A の児童
- F ゆとりや安心感など、親和的な雰囲気の中で学習や生活ができる。(20%)
 - ・ 選んだ児童のうち 54%が Aの児童
 - 46%が イの児童
- G 互いに刺激し合い、磨き合う中で、自分自身を高めることができる。(18%)
 - ・ 選んだ児童のうち 58%が イの児童
 - 31%が Aの児童

※ 全体的に見ると、友達の様々な考え方に触れ、多くの友達と関われる人数が学びやすいと考えている児童が多い。また、ゆとりや安心感の中で学校生活が送られること、丁寧できめ細やかな指導も受けられること、友達と切磋琢磨できる学級が学びやすいと考えている。

※ A (10名まで)を選択した児童で多い理由は、A、F、C、Bの順である。
 イ (10名から20名)を選択した児童で多い理由は、B、G、Fの順である。

② 保護者については次のとおりである。

- A 丁寧で、きめ細かな指導を受けることができる。(52%)
- ・ 選んだ保護者のうち 64%が イ(10名から20名)の保護者
36%が ア(10名まで)の保護者
- B 友達の様々な考え方にふれ、多くの友達と関わりを持つことができる。(16%)
- ・ 選んだ保護者のうち 83%が イの保護者
17%が ウ(20名から30名程度)の保護者
- G 互いに刺激し合い、磨き合う中で、自分自身を高めることができる。(14%)
- ・ 選んだ保護者のうち 73%が イの保護者
20%が ウの保護者
- C 一人一人の活躍の場が増え、自分や友達のよさに気付くことができる。(10%)
- ・ 選んだ保護者のうち 90%が イの保護者
- H その他
- ・ 先生とのコミュニケーションがとれる、広々とする(ア)
 - ・ 自分が小学生の時に学びやすかったから 将来大人数になったときに心配である 集中できる 目が行き届く 丁度よい スポーツをするのに丁度よい(イ)
 - ・ 体育やグループ活動の人数がいた方がよいから 高校に通学すると30名以上だから 学力向上のため(ウ)

※ 全体的に見ると半数以上の保護者が、丁寧できめ細やかな指導を受けられることが子どもたちにとっての学びやすさには大切であると考えている。また、友達の考え方に触れ、多くの友達と関われること、切磋琢磨し自分を高められること、一人一人の活躍の場と自分や友達のよさにも気づくことができる学級が、学びやすいと考えている。

※ ア(10名まで)を選択した保護者で多い理由は、A、Fの順である。

イ(10名から20名)を選択した保護者で多い理由は、A、B、G、Cの順である。

③ 教職員については次のとおりである。

- B 友達の様々な考え方にふれ、多くの友達と関わりを持つことができる。(79%)
- ・ 選んだ教職員のうち 73%が イ(10名から20名)の教職員
27%が ウ(20名から30名程度)の教職員
- G 互いに刺激し合い、磨き合う中で、自分自身を高めることができる。(68%)
- ・ 選んだ教職員のうち 68%が イの教職員
32%が ウの教職員
- E 互いに協力する場が増え、思いやりや寛容の心を育てることができる。(57%)
- ・ 選んだ教職員のうち 81%が イの教職員
19%が ウの教職員
- A 丁寧で、きめ細かな指導を受けることができる。(54%)
- ・ 選んだ教職員のうち 93%が イの教職員
7%が ア(10名まで)の教職員

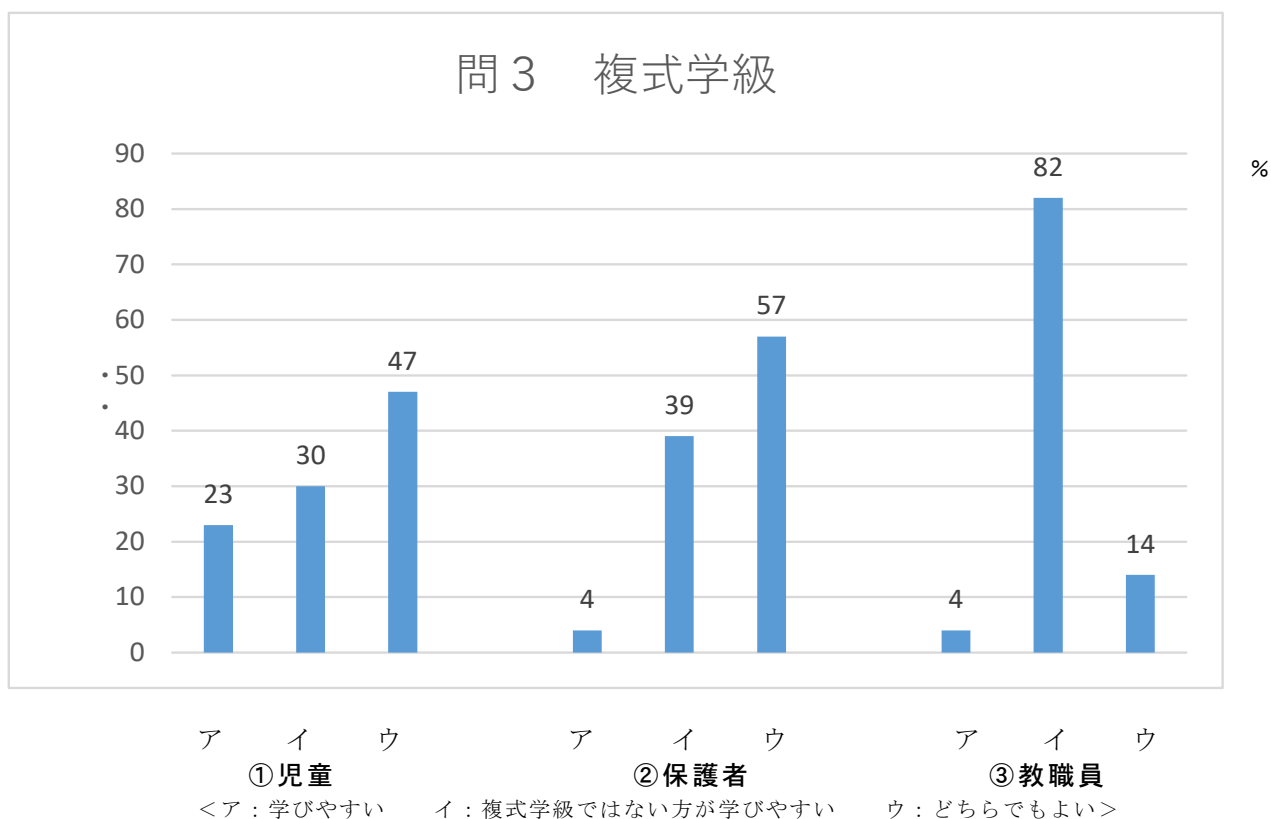
※ 全体的に見ると教職員の多くは、友達との協働的な学びが日常的にできる学級の大きさが子どもたちの学びやすい学級ではないかと考えている。その学級での学びが、子どもたちに大切な力を身につけさせることができるのではないかと考えている。

※ イ(10名から20名)を選択した教職員で多い理由は、B、E、Gの順である。

ウ(20名から30名程度)を選択した教職員で多い理由は、B、G、Eの順である。

(3) 設問3 (複式学級に対する意識)

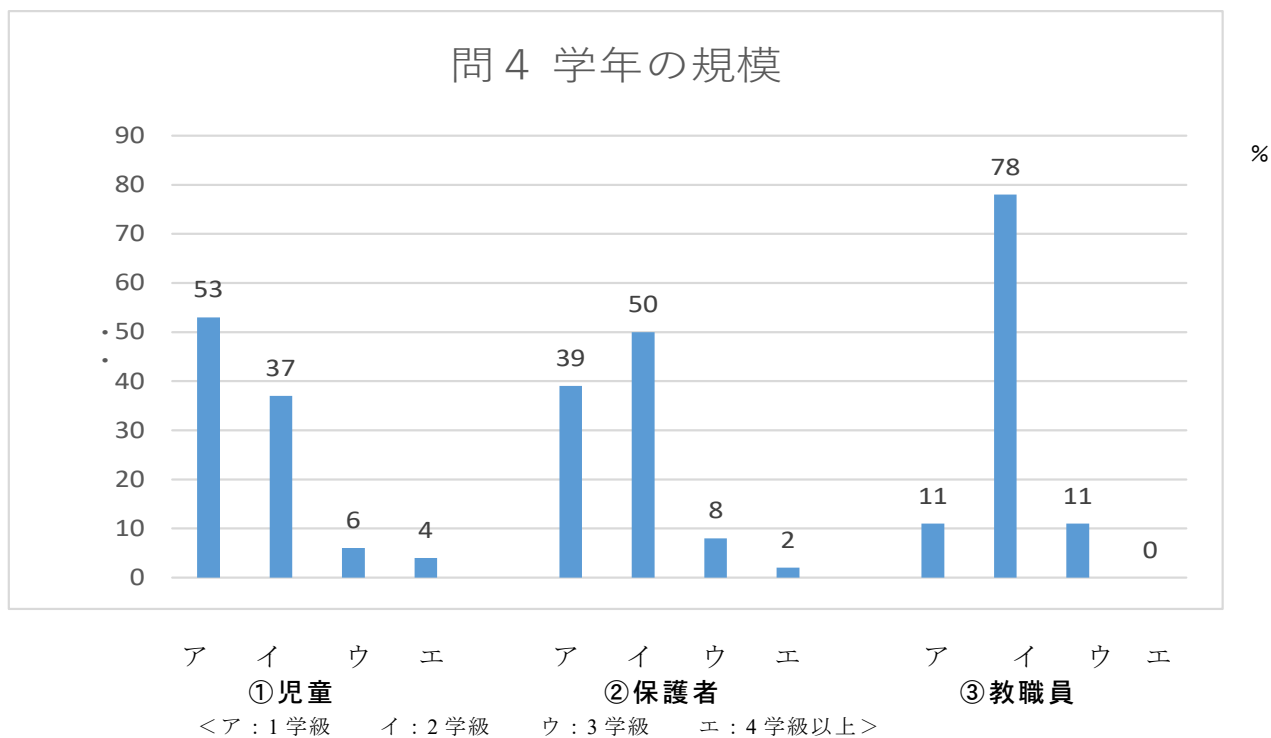
複式学級について、感じていること、思っていることを一つ選んでください。



- ① どちらでもよいが一番多い。30%の児童が複式学級ではない方が学びやすいと感じている。23%の児童が複式学級は学びやすいと感じている。
- ② 児童と同じように、保護者もどちらでもよいが一番多い。39%の保護者が複式学級でない方が学びやすいと感じている。4%の保護者が複式学級は学びやすいと感じている。
- ③ 82%の教職員が、子どもたちにとって複式学級ではない方が学びやすいのではないかと感じている。

(4) 設問4 (学年の規模 (大きさ) について)

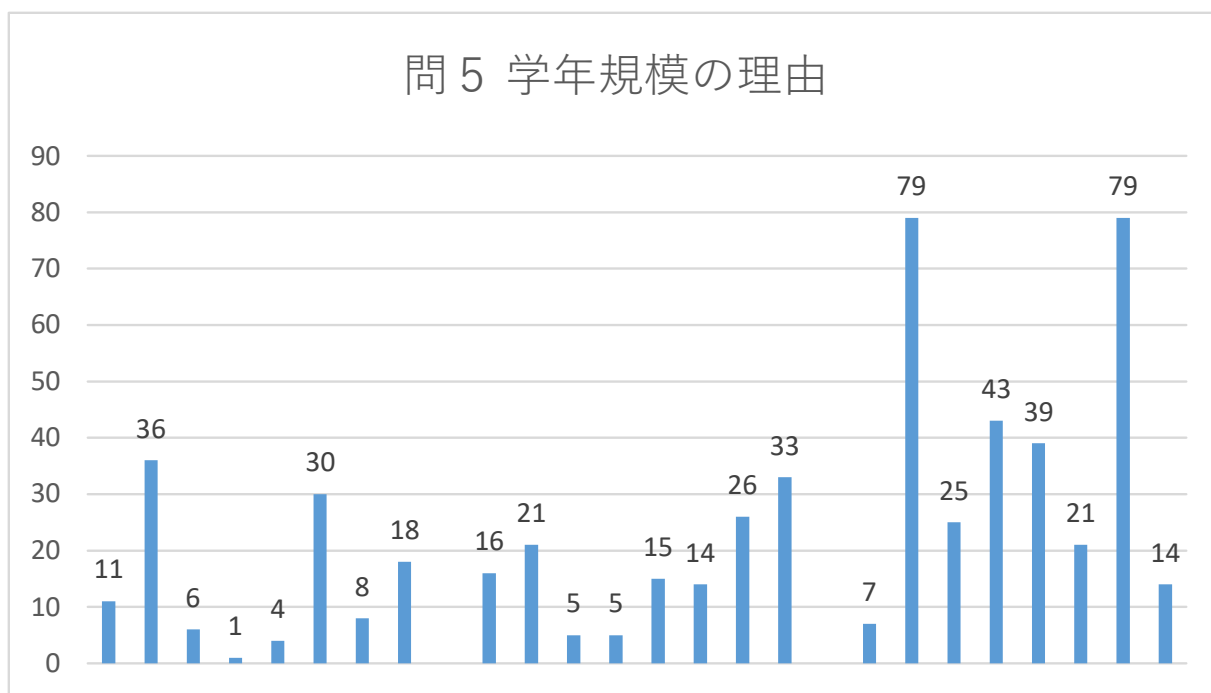
学校生活を送る際、1つの学年に、どのぐらいの学級数があれば、学びやすいと考えますか。1つ選んでください。



- ① 1学級がよいと考えている児童が53%で一番多い。次に、2学級が37%となっている。
- ② 2学級が学びやすいと考えている保護者が50%で一番多い。1学級がよいと答えている保護者は39%である。
- ③ 78%の教職員は学年の学級数は、2学級が学びやすいと考えている。

(5) 設問5 (学年の規模(大きさ)についての理由)

問4で、なぜその学級数が一番学びやすいと考えたのですか。理由を書いてください。理由が複数ある場合は、複数書いてかまいません。



A B C D E F G H A B C D E F G H A B C D E F G H
 ① 児童 ② 保護者 ③ 教職員

- A 丁寧で、きめ細かな指導を受けることができる。
- B 友だちの様々な考え方にふれ、多くの友達と関わりをもつことができる。
- C 一人一人の活躍の場が増え、自分や友達のよさに気付くことができる。
- D 様々な役割を経験でき、自分のよさや可能性に気付くことができる。
- E 互いに協力する場が増え、思いやりや寛容の心を育てることができる。
- F ゆとりや安心感など、親和的な雰囲気の中で学習や生活ができる。
- G 互いに刺激し合い、磨き合う中で、自分自身を高めることができる。
- H その他 ()

① 児童については次のとおりである。

OB 友達の様々な考え方にふれ、多くの友達と関わりを持つことができる。(36%)

- ・ 選んだ児童のうち 21%が ア(1学級)の児童
- 57%が イ(2学級)の児童
- 10%が ウ(3学級)の児童
- 12%が エ(4学級以上)の児童

OF ゆとりや安心感など、親和的な雰囲気の中で学習や生活ができる。(30%)

- ・ 選んだ児童のうち 74%が アの児童
- 21%が イの児童

※ 全体的に見ると、友達の様々な考え方に触れ、多くの友達と関われる学級数が学びやすいと考えている児童が40%近くおり、また、ゆとりや安心感の中で学校生活を送られる学級数が学びやすいと答えている児童も30%である。

- ※ ア(1学級)を選択した児童で多い理由は、F、A、Bの順である。
- イ(2学級)を選択した児童で多い理由は、B、G、Fの順である。

② 保護者については次のとおりである。

- OG 互いに刺激し合い、磨き合う中で、自分自身を高めることができる。(26%)
- ・ 選んだ保護者のうち 74%が イ(2学級)の保護者
 - 26%が ウ(3学級)の保護者
- OB 友達の様々な考え方にふれ、多くの友達と関わりを持つことができる。(21%)
- ・ 選んだ保護者のうち 68%が イの保護者
 - 23%が ウの保護者
- OA 丁寧で、きめ細かな指導を受けることができる。(16%)
- ・ 選んだ保護者のうち 71%が ア(1学級)の保護者
 - 29%が イの保護者
- OE 互いに協力する場が増え、思いやりや寛容の心を育てることができる。(15%)
- ・ 選んだ保護者のうち 37.5%が アの保護者
 - 37.5%が イの保護者
 - 25%が ウの保護者
- OF ゆとりや安心感など、親和的な雰囲気の中で学習や生活ができる。(14%)
- ・ 選んだ保護者のうち 67%が アの保護者
 - 13%が イの保護者
 - 20%が ウの保護者
- OH その他
- ・ 動きやすい 集中できる 統一感 目が行き届く 先生の負担軽減 縦の交流ができる(ア)
 - ・ クラス替え クラスの団結が高まる(イ)
 - ・ 能力別のクラスにして教育の質を向上させる(ウ)
 - ・ 少人数でクラスが多いと活気づく(エ)

※ 全体的に見ると、友達と切磋琢磨できる学年、協働的な学びができる学年の大きさが子どもたちの学びやすい学年規模ではないかと考えている保護者が多い。

※ ア(1学級)を選択した保護者で多い理由は、A、F、Eの順である。

イ(2学級)を選択した保護者で多い理由は、G、B、Eの順である。

③ 教職員については次のとおりである。

- OB 友達の様々な考え方にふれ、多くの友達と関わりを持つことができる。(79%)
- ・ 選んだ教職員のうち 82%が イ(2学級)の教職員
 - 14%が ウ(3学級)の教職員
- OG 互いに刺激し合い、磨き合う中で、自分自身を高めることができる。(79%)
- ・ 選んだ教職員のうち 86%が イの教職員
 - 14%が ウの教職員
- OD 様々な役割を経験でき、自分のよさや可能性に気付くことができる。(43%)
- ・ 選んだ教職員のうち 100%が イの教職員
- OE 互いに協力する場が増え、思いやりや寛容の心を育てることができる。(39%)
- ・ 選んだ教職員のうち 73%が イの教職員
 - 18%が ウの教職員

※ 全体的に見ると、教職員の多くは、友達との協働的な学びができる学年、友達と切磋琢磨できる学年の大きさが学びやすい学年規模ではないかと考えている。また、様々な経験や互いに協力する場を通して、子どもの可能性やよさ、思いやりや寛容の心などを育てることができる学級数が学びやすいと考えている。

※ イ(2学級)を選択した教職員で多い理由は、G、B、D、Eの順である。

ウ(3学級)を選択した教職員で多い理由は、G、B、Eの順である。